

医療従事者の相談応需

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は医療従事者の相談応需により薬剤選択に関わることで予測される副作用症状の回避に貢献できた事例のプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

・外来にて診察中の過敏性腸症候群患者の薬剤選択に関する問い合わせ

【処方】

リンゼス[®]錠 (0.25 mg) 1回2錠 1日1回朝食後



イリボー[®]錠 (2.5 μg) 1回1錠 1日1回朝食後



医師

リンゼス[®]っていう薬があると思うんだけど、過敏性腸症候群の患者さんに使ってもいいですか？

リンゼス[®]は**便秘型過敏性腸症候群**に対する適応となります。



便秘型過敏性腸症候群だけの適応ですか？
今回の患者さんは**下痢型過敏性腸症候群**ですが、
この患者さんに対して使用できるものはありますか？

リンゼス[®]は**便秘型過敏性腸症候群**のほかに慢性便秘症に対しても使用できますが、**下痢型過敏性腸症候群**の患者様ですと副作用で下痢症状が悪化する**可能性**があります。
下痢型過敏性腸症候群に対してはイリボー[®]に**適応**があります。
コロネル[®]だとどちらの疾患にも使用可能です。



薬剤師



なるほど。では今回はイリボー[®]を使ってみます。
イリボー[®]を処方する際に何か注意点はありますか？

イリボー[®]は**男性と女性で用法用量が異なります！**
男性では1回5 μg、女性では1回2.5 μgとなり、それぞれ倍量まで適宜増減可能です。



そうですか。
今回は女性なので、イリボー[®]を1回2.5 μg処方することにします。

そうですね。
よろしくお願いします。



医療者の相談を応需することで、予想する副作用を回避し、適切な薬物療法に貢献できた。